

2023年度  
東京大学大学院工学系研究科  
機械工学専攻

修士課程（博士前期課程プログラム）

【日程A】

修士課程（一貫研究プログラム）【日程A】

博士後期課程【日程A・日程B】

入学試験案内

・新型コロナウイルス感染症等の影響により、本入学試験案内の内容を変更する場合は、工学系研究科 Web サイト ([http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general\\_guideline.html](http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general_guideline.html)) および機械工学専攻ウェブサイト (<http://www2.mech.t.u-tokyo.ac.jp/admissions/>) で公表しますので、随時確認してください。

【本入試案内に関する問い合わせ先】

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学大学院工学系研究科機械系事務室  
電話 03-5841-6301  
E-mail: [kyoumu@office.mech.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:kyoumu@office.mech.t.u-tokyo.ac.jp)

この案内書は2023年度東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項および同博士後期課程学生募集要項の説明を補うものであり、受験者は前記の募集要項とともにこの入試案内を必ず熟読のこと。

## 1. 入学時期

### 【日程A】

・修士課程(博士前期課程プログラム)に出願した者および修士課程(一貫研究プログラム)に出願した者のうち、2023年3月31日までに大学を卒業見込みの者については、2023年4月の入学となる。出願時に既に大学を卒業している者、あるいは2022年9月30日までに卒業見込みの者については、2023年4月の入学に加えて2022年10月の入学も可能である。

・博士後期課程に出願した者のうち、2023年3月31日までに大学院修士課程を修了見込みの者については、2023年4月の入学となる。出願時に既に大学院修士課程を修了している者、あるいは2022年9月30日までに修了見込みの者については、2023年4月の入学に加えて、2022年10月の入学も可能である。

### 【日程B】

・入学時期は2023年4月のみである。

## 2. 指導教員等

「教員一覧」に記載されている教員のうち、※印のある教員はいずれの出願者も指導教員として志望することはできない。◇印のある教員は修士課程(一貫研究プログラム)の指導教員として志望することはできない。また、◎印のある教員は、修士課程(一貫研究プログラム)および博士後期課程の指導教員として志望することはできない。本教員一覧は、2022年5月現在のもので、今後変更になる可能性がある。

### (1) 修士課程(博士前期課程プログラム)

修士課程(博士前期課程プログラム)に入学を希望する者は、受験票と一緒に送付される志望調査票に必要な事項を記入し、期限内に提出すること。指導教員の決定は、試験の成績と受験者の希望を総合的に勘案して行うので必ずしも第一志望通りにはならない。志望調査票の記述をよく読んで志望する指導教員名を記入すること。

### (2) 修士課程(一貫研究プログラム)

修士課程(一貫研究プログラム)に入学を希望する者は、願書提出の前に志望する指導教員をあらかじめ訪ね、合格した場合の指導の許可を得たことを示す「受験資格確認書」を受領し、願書とともに提出しなければならない。なお、指導教員の選択に関しては下記の大学院主任教授と相談することも可能である。

### (3) 博士後期課程

博士後期課程に入学を希望する者は、願書提出の前に志望する指導教員をあらかじめ訪ね、合格した場合の指導の許可を得るとともに、希望する研究課題等について相談しておかなければならない。なお、指導教員の選択に関しては下記の大学院主任教授と相談することも可能である。

大学院主任： 白樫 了 教授 電話03-5452-6217

### 3. 修士課程（博士前期課程プログラム）【日程Aのみ】

#### (1) 入学試験について

##### (イ) 筆記試験

修士課程（博士前期課程プログラム）における筆記試験は、a)一般教育科目（数学）、b)外国語（英語 TOEFL のスコア提出※）および c) 下記に示した専門科目（機械工学）について行う。

専門科目	分野
機械工学（第1部）	主に、熱工学、流体工学の分野から出題
機械工学（第2部）	主に、材料力学、機械力学・制御、機械設計・生産工学の分野から出題

専門科目（機械工学）については、留学生および試験時に希望した者には、試験問題と併せて、試験問題の英文説明書も配付する。また、一般教育科目（数学）では、日本語・英語の試験問題を配布し、6問全問を解答することとする。

##### (ロ) 口述試験

口述試験は9月2日（金）12：30に発表する筆記試験合格者に対してのみ実施する。希望する専門分野、研究課題、指導教員などについて試問する。口述試験は、当日集合場所で発表する呼び出し順序にしたがって行なうが、呼び出し時に不在の受験者は、口述試験について不合格となるので注意すること。

#### (2) 出願日程について

2023年度東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項のとおり。

### 4. 修士課程（一貫研究プログラム）【日程Aのみ】

#### (1) 入学試験について

##### (イ) 筆記試験

修士課程（一貫研究プログラム）における筆記試験は、a)外国語（英語 TOEFL のスコア提出※）および b) 修士課程（一貫研究プログラム）専門学術（各自の専門分野に関連する学術）について行う。

b) 修士課程（一貫研究プログラム）専門学術（各自の専門分野に関連する学術）については、入学後の研究構想が問われる。また、留学生および試験時に希望した者には、試験問題と併せて、試験問題の英文説明書も配付する。

##### (ロ) 口述試験

希望する専門分野、研究課題、指導教員などについて試問する。口述試験は、当日集合場所で発表する呼び出し順序にしたがって行なうが、呼び出し時に不在の受験者は、口述試験について不合格となるので注意すること。

#### (2) 出願日程について

2023年度東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項のとおり。

## 5. 博士後期課程

### (1) 第1次試験について

#### (イ) 筆記試験

博士後期課程第1次試験における筆記試験は、a)外国語(英語 TOEFL のスコア提出※)およびb)博士専門学術(各自の専門分野に関連する学術)について行う。

ただし、本学工学系研究科の修士課程を修了した者、または修了見込みの者については、a)外国語の試験を省略し、b)博士専門学術(各自の専門分野に関連する学術)の試験のみ行う。

博士専門学術(各自の専門分野に関連する学術)については、留学生および試験時に希望した者には、試験問題と併せて、試験問題の英文説明書も配付する。

#### (ロ) 口述試験

第1次試験における口述試験は、a)専門科目「機械工学」、b)修士論文またはこれに代わる研究の経過状況と希望する研究課題についての構想、両者に関する機械工学上の知識について試問を行う。

ただし、本学工学系研究科機械工学専攻の修士課程を修了した者、または修了見込みの者については、a)専門科目「機械工学」の口述試験を省略する。

### (2) 第2次試験について

第2次試験は、完成した修士論文またはこれに代わる研究についてのプレゼンテーションおよび質疑応答を、第1次試験の合格者に対してのみ行う。期日は原則として1月下旬であるが詳細は追って通知する。

ただし、出願時に既に大学院修士課程を修了している者、あるいは2022年9月30日までに修了見込みの者に対する第2次試験は、8月下旬から9月上旬の試験期間に行う。詳細は追って通知する。

### (3) 出願日程について

2023年度東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項のとおり。

### (4) 【日程 B】受験者の合格発表日について

令和5(2023)2月9日(木)

## 6. その他

専門科目の筆記試験および口述試験は、試験会場(東京大学本郷キャンパス)で実施する。入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本専攻の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。

※) 7月30日までにTOEFL(TOEFL-iBT、TOEFL-iBT Home Edition、TOEFL-ITP Plus for Chinaのいずれか)を受験し、8月19日までに公式スコアが工学系研究科へ郵送されていること。大学院入学試験場でのTOEFL-ITPは実施しない。【日程 A】の受験者に限りTOEFL公式スコアが提出できない特別な事情がある者については、機械系事務室に必ず問い合わせること(問い合わせの締め切り6月10日)。詳細は別紙「令和5(2023)年度東京大学大学院工学系研究科大学院入学試験外国語(英語)に関するお知らせ」を参照すること。なお、機械工学専攻では、TOEFL-iBTのMyBest™スコアは活用せず、Test Dateスコアのみを出願スコアとして活用する。